

平成30年度大阪府立寝屋川支援学校第1回「学校運営協議会」議事録

開催日時	平成30年6月26日(火) 9:30~11:30			
開催場所	大阪府立寝屋川支援学校 校長室			
出席者	委員	職名等	学校	校務分掌等
	加藤 美朗	関西福祉科学大学教育学部准教授	太田 正義	校長
	窪田 知子	滋賀大学教育学部准教授	岡本 智	准校長
	山崎 淳	寝屋川市立梅が丘小学校長	吉村 昌己	事務部長
	辻 行雄	一般社団法人 エル・チャレンジ L's College おおさか校長	木村 稔	教頭
	今泉 知之	タスクローレル サービス・スマスター事業部代表者	和田 泰英	教頭
	大槻 千春	寝屋川支援学校PTA会長	角尾 将司	首席
			西田 宜弘	首席・小学部主事
			門田 悠	首席
		植屋 正美	首席・高等部主事	
		林 尚美	中学部主事	
		安井 悠子	進路指導主事	
傍聴者	なし			
協議資料	大阪府立寝屋川支援学校学校運営協議会実施要項 平成30年度学校経営計画 地域支援・進路指導・防災について 平成31年度使用教科用図書選定理由書・使用教科書一覧表			
議題等	①平成30年度学校経営計画について ②センター的機能の現状について ③進路指導の取り組みについて ④防災について ⑤平成31年度教科用図書選定について			
協議内容・承認事項等 (意見の概要)	<p>(1) 運営協議会委員及び事務局員の自己紹介の後、会長に加藤委員、副会長に大槻委員を選出した。</p> <p>(2) 平成30年度学校経営計画について、中期的目標の3本の柱及び本年度の取り組み等については太田校長より、高等部については岡本准校長より説明があった。</p> <p>(3) 本校のセンター的機能発揮の現状について、地域支援、支援教育地域支援整備事業、北河内支援学校相談サポートセンター等について、角尾首席より報告があった。</p> <p>(4) 進路指導の取り組みについて、平成29年度高等部卒業生進路先、実習先企業開拓、校内での取り組み等について、安井進路指導主事より報告があった。</p> <p>(5) 本校における防災の取り組みについて、昨年度実施した避難所宿泊体験等について、角尾首席より報告があった。</p> <p>(6) 運営協議会委員による協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加藤会長は「本年度より学校運営協議会実施要項の中に、学校運営に関する基本的な方針について承認するということが盛り込まれたので、第2回会議に年度途中の課題などを挙げてもらい、第3回会議で、学校教育自己診断の結果を報告してもらい、平成31年度の学校経営計画を承認するようにしたい。」「先生方は手作りで教材を作っておられ、大変。教材のデータベース化・共有化を進めて欲しい。」と述べられた。 ・窪田委員は「地域支援に関しては、高校も通級による指導が始まった。小・中の支援学級在籍児童生徒の保護者の不安も増えてくる。また、進路の選択について、地域の支援学級か支援学校か迷われるという話もよく聞く。保護者や児童・生徒に見通しを伝えることができたらと思う。」と述べられた。 ・山崎委員から「進路についてだが、施設には年限があると思うが、年限が来た後の事が知りたい。」との質問があった。それに対して安井進路指導主事から「就労移行支援施設については、期間は2年間で、その後就職する人や就労継続支援B型施設に進む人もいる。B型は年限はない。自立(生活)訓練施設は2年間で就労移行の前段階でいく人が多い。生活介護施設は年限がない。」との回答があった。また、辻委員が「年限がないからということですと居続けるのではなく、子どもの状況に合わせて選択してステップアップを考えていくことで力を引き出すことができると思う。」と述べられた。 ・大槻委員が「教科指導について。子どもの学力に合った指導をしてほしい。」と述べられた。それに対して辻委員から「支援学校では、学力あるなしではなく、感情の自己コントロールや他人との協調性などの生活のもとになる基礎の力を育てるのが本質のように思う。」と述べられた。また、今泉委員が「人との関わり・触れ合い、コミュニケーションは教えても教えきれない。永遠のテーマだと思う。働き方改革については、教材の共有化は、寝屋川支援だけでなく、他校との共有にも取り組んでほしい。」と述べられた。 <p>(7) 平成31年度教科書選定について、教科用図書選定理由書、使用教科書一覧表等について、木村教頭より報告があった。</p> <p>(8) 第2回及び第3回学校運営協議会を平成30年12月17日(月)と平成31年3月19日(火)の9時30分から11時30分に本校図書室にて開催することを決定した。</p>			